

平成 30 年度 看護研究発表・活動報告会開催要項

1. 目的

看護の各領域における研究成果発表や看護に関する日々の活動を報告し、看護の質の向上を図る。

2. 目標

- 1) 保健師、助産師、看護師、准看護師が日常の看護研究、実践の成果について発表する。
- 2) 病院、保健福祉センター、福祉施設、学校、保育園、産業看護、地域看護等、各施設から広い領域の研究、活動報告を行う。
- 3) 各領域の研究、活動報告を通して、看護実践の知を共有する。

3. 開催日時 平成 31 年 2 月 22 日 (金) 9:30~16:30

4. 会場 川崎市ナーシングセンター3階 研修室

5. 主催 公益社団法人川崎市看護協会

6. 講評講師 川崎市立看護短期大学

学長補佐 滝島 紀子 先生

7. 研究発表・活動報告者の資格

看護職員

申込締切

演 題：平成 30 年 12 月 3 日 (月)

集録原稿：平成 30 年 12 月 25 日 (火) (抄録の提出は不要)

8. 集録原稿送り先は、下記のメールでお願いいたします

連絡先 公益社団法人川崎市看護協会

〒211-0067 川崎市中原区今井上町 1 番 34 号 和田ビル 3F

事務局 上田今日子

メール mail2@kawa-kango.jp

FAX 044-711-5103 TEL 044-711-3995

10. 発表に関すること

1) 発表方法

- ① 口演による発表
- ② 口演発表は 1 演題、約 8 分
- ③ PC プロジェクターのみ使用可

*集録集は当日配布する。

2) 選考

- ① 選考は、集録原稿で行う。
- ② 採否の結果は 1 月下旬に通知する。
- ③ 採否決定後、特に倫理的配慮など修正が必要な場合は修正を依頼することもある。

3) 原稿の申し込み

- ① 原稿 1 部を期日 (平成 30 年 12 月 25 日 (火)) までにメールで送付する。
- ② 原稿は未発表 (施設内発表は可) のものとする。

4) 原稿記載方法は別紙参照、または川崎市看護協会ホームページをご覧ください。

<原稿記載方法>

- 1) 用紙はA4サイズ、4枚以内(図表を含む)。
- 2) 「ページレイアウト」で余白を上下20mm、左右15mmに設定
- 3) 表題名(14ポイント)、サブタイトル(12ポイント)、○発表者名、共同研究者名(10.5ポイント)、所属施設名(10.5ポイント)、キーワード3~5語入力(10.5ポイント)すべて中央揃えとする。
サブタイトルを付ける場合は、[全]ダッシュを両側につける。
- 4) 上部8行1段組
- 5) 本文は、9行目より「ページレイアウト」→「段組」→「段組みの詳細設定」を選択、「2段」を選択し、「段と幅の間隔」の「段の幅」を25文字、間隔を「3字」に設定、設定対象を「これ以降」に設定する。文字サイズ(10.5ポイント)。和文は明朝体、英文はCenturyを用いる。英数字は半角、括弧は全角。2,000字(25字×40行×2段)。
句読点は、行の始めに配置しない。
- 6) 図・表及び写真を挿入する場合、2段組にとらわれず白黒で見やすい大きさにする。
 - ・図表の文字、数字が判読可能なものを挿入する。
 - ・図表の挿入位置を本文中()にて指定する。<記載例>である(表1)。
 - ・表番号と表タイトルは表の上、図番号と図タイトルは図の下に入れ、中央揃えとする。
- 7) 引用・参考文献
 - ・引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に¹⁾²⁾と番号をつけ、本文原稿の最後一括して引用番号順に記載する(数字は半角、半括弧は全角、上付き)。
 - ・引用文献は次のように記載する(数字は半角、括弧・半括弧は全角、 : [全]コロン , [全]コンマ , [全]ピリオドを用いる。頁はp. [半]コンマ -[半]ハイフンを用いる)。
雑誌掲載論文 著者名: 表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次)。
<記載例> 1) 川崎花子: ○○○に関する研究, ○○看護, 31(2), p.11-16, 2008.
2) 川崎花子, ○○○, ○○○, 他(共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする): 看護の○○○研究, 第○回日本看護学会論文集(看護管理), p.5-8, 2018.
単行本 著者名: 書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次)。
<記載例> 3) 川崎花子: 看護実践の手引き(3), ○○出版, p.145-148, 2006.
翻訳書 原著者名: 書名(版), 発行年, 訳者名, 書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次)。
<記載例> 4) Alice Williams: Nursing Research(4), 2001, 川崎花子訳, 看護研究(4), ○○出版, p.298-300, 2018.
電子文献 著者名: 表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次), URL。(検索日: 年月日)
発行機関名(調査/発行年次): 表題, URL。(検索日: 年月日)
<記載例> 5) 文部科学省, 厚生労働省(2014): 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針,
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf>。(検索日: 2015年4月10日)
※公的機関から提供される情報(統計、法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする。
- 7) 原稿は、必ずメール送信として提出する。

(連絡先) 公益社団法人川崎市看護協会
Email: mail2@kawa-kango.jp
TEL: 044-711-3995
事務局担当 上田 今日子

上部余白 20mm

- 1行空白 (但し、タイトルが2行にわたる場合は空白なし)
- 2行 表題名 (14ポイント 中央揃え)
- 3行 —サブタイトル— (12ポイント 中央揃え 両側に —[全]ダッシュ挿入)
- 4行空白 (但し、サブタイトルがない場合は2行あけ、サブタイトルが2行にわたる場合は空白なし)
- 5行 ○発表者名¹⁾ 共同研究者名²⁾ (10.5ポイント 中央揃え)
- 6行 1) 所属施設名 2) 所属施設名 (10.5ポイント 中央揃え)
- 7行 キーワード: ○○, ○○ (10.5ポイント 中央揃え : [全]コロン, [全]コンマ挿入)
- 8行空白

I. はじめに
(ローマ数字及びピリオドは全角)
(取り組みの動機や目的、検討課題や結果を加え、事例の概要が分かる様に簡潔にまとめる)

- II. 研究目的
- 1. (数字は半角、ピリオドは全角)
 - 1) (数字は半角、半括弧は全角)
 - (1) (数字は半角、括弧は全角)
 - ①

*見出しは、章 (I・II・III…), 節 (1・2・3…), 項 [(1)・(2)・(3) …], 項の下は [(1)・(2)・(3) …]
【①・②・③】で記載する。

III. 研究方法
(データの収集方法や分析方法が明記する)

IV. 倫理的配慮 (必ず記載すること。
報告に関連する対象者の不利益や負担がないように配慮する。固有名詞・写真を掲載する場合は、看護の実際を示すのにどうしても必要な場合のみにし、対象者の承諾を得て、その旨を掲載する。または対象者が特定できないようにプライバシーの配慮をする。署名にて同意を得ている事を記載する。結果に対する貢献も言及する)

- V. 結果
- VI. 考察
- VII. 結論

*本文 文字サイズ (10.5ポイント)
2,000字 (25字×40行×2段)
和文は明朝体、英文は Century を用いる
英数字は半角、括弧は全角

段

間

左右余白 15mm

下部余白 20mm

看護者は、研究計画・実施に際し、少なくとも下記の項目について倫理的配慮が十分なされているか自己吟味することが必要である。

基本的な事柄（研究全体を通して）

- 対象者の安全及び人権の擁護、特に研究に関する知る権利・自己決定の権利に対する配慮ができているか？
- 個人情報や秘密の保持などプライバシーに配慮ができていますか？
- 通常の実践家と研究者の役割・活動を明確に区別することが出来ているか？
- 専門的知識、研究方法、研究の意義等の吟味、文献検索は十分行われているか？

研究計画書

- 倫理的配慮が明記されているか？
- 研究によって得られる利益（協力者・社会）と不利益のバランスが検討されているか？
- 予測される研究対象者の不利益・不自由・リスク等を最小にする方法を講じているか？
- 研究対象者の選定手続きの公平さは保たれているか？
- 研究対象者の個人情報保護（匿名性の確保）の方法は十分か？
- 研究協力依頼書や同意を得る方法が明記され、同意書が添付されているか？
- 研究参加の拒否により研究対象者に不利益がないことが実質的に保障されているか？
- 研究対象者への謝礼がある場合、その旨及びその内容が明示されているか？
- 研究対象者の責任・判断能力に応じて、代諾者の同意を得る方法は明示されているか？

研究依頼書・同意書

- 研究の目的・内容・手順がわかりやすく、適切に説明されているか？
- 研究協力に伴う不快、不自由、不利益、リスクなどが説明されているか？
- いつでも参加を拒否、辞退でき、それによる不利益はないことが説明できているか？
- 研究対象者からの質問に答える準備が説明され、連絡方法が説明されているか？
- 研究対象者の匿名性、個人情報がどのように守られているか説明されているか？
- 研究結果の公表方法について説明されているか？
- 同意書には、研究の説明、日時及び研究対象者の署名欄が記されているか？
- 同意書のひとつを研究対象者に渡しているか？

データ収集中およびその後

- データ収集中も、断る権利を保障できているか？
- 実践家としての第一義的な責務を果たし、ケア優先でデータ収集を行っているか？
- 研究対象者に不利益がないように最善を尽くしているか？
- データや資料は関係者以外の目に触れることがないように施錠可能な場所で厳重に管理し、個人情報の保護に努めているか？
- データや資料の保管が必要でなくなったときは、速やかに、確実に破棄するための明確な基準を設けているか？
- 有効な看護方法が明らかになった時には、その看護を提供できるように配慮しているか？

研究の公表（論文・発表）

- 対象者に対して行った倫理的配慮を明記しているか？
- 個人や対象集団の特定につながる情報の記載はないか？
- 文献、使用した測定用具・モデルについて引用は明記しているか？

※注意：各々の項目をチェックする際は「看護研究における倫理指針」を参照すること。